



留学生・留学体験紹介



FROM



出身国

バングラデシュ

イスラム・エムディ・マルフル

Islam MD Maruful さん

(総合理工学研究科 博士後期課程 3年)

「グローバル課題解決型研修」に参加



オンラインでの受講風景



オンライン研修

タイ

やすひろ

安広 ゆいさん

(教育学部 言語教育専攻 4年)

他国の取り組みや課題を知り
私たちにできることを考え直す機会に

9月13日〜24日までの2週間、タイ・チェンマイ大学のオンライン研修に参加しました。今回のカリキュラムには、SDGsに関する講義やタイの学生との交流が含まれていて、将来教員になるにあたって、SDGsの知識を身に付けておきたいと考え参加を決めました。

授業は、毎日2〜3項目のSDGsの紹介と、他国の取り組みや状況について説明があり、その授業を基にしたディスカッションやプレゼン発表などを行いました。他国の取り組みの中で印象に残ったのは、アプリケーションなどを用いて、廃棄予定の食品を必要人に配布する企画です。日本でも弁当等の廃棄が多いというニュースをよく耳にするので、必要としている人に届け、廃棄量を減らす取り組みとして、多くの場所で企画すべきだと感じました。研修を通じて他国の課題を知ることができ、私たちに

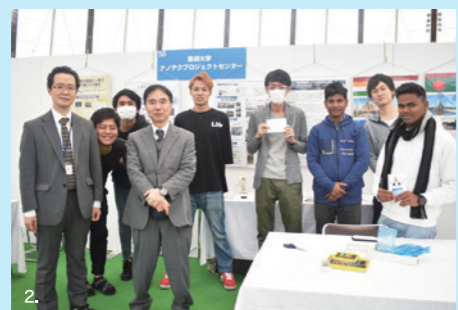
きることを考え直す良い機会になりました。英語で話すことに対する抵抗も減り、ディスカッションやプレゼンにおいて自分の意見を分かりやすく伝えるために、どのように話を組み立てればよいかのコツがつかめたと思います。私自身、環境に優しい行動を心掛けるとともに、将来教員になった際に、生徒にSDGsについて考えるきっかけを与えていきたいと思いました。

MEMO

グローバル課題解決型研修とは？

本学の協定校であるタイ・チェンマイ大学と協力して実施する研修で、2017年度から毎年チェンマイにおいて実施してきました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりましたが、今年度はSDGsをテーマとして、初めてオンラインでの研修が実現しました。今回の研修には、法文学部、教育学部、人間科学部、生物資源科学部から計10名の学生が参加しました。

外国人にも優しい学びの環境で
専門分野の膨大な知識と経験を得る



1. 留学生と日本人の友人でクリケットクラブを作り、地域の方たちと交流会をしました。2. いずれも産業未来博に島根大学ナノテクプロジェクトセンターから参加しました。

高校時代から、私にとってテクノロジーを追求することは大きな関心事でした。大学卒業後に一度就職しましたが、工学分野の研究が進んでいる日本で学びたいと思い、留学を決意しました。現在は、ナノ粒子ベースの半導体デバイス（薄膜トランジスタ）の製造について学んでいます。留学当初は、特に実験装置を使う際の日本語がとても難しく、言葉の壁を感じました。そこから日本語を学び、できるだけ他の学生とコミュニケーションを取るようになりました。現在所属している研究室の日本人学生はとても親切で丁寧に教えてくれるので、本当に楽しく学んでいますし、テクノロジーに関する多くの知識を得ることができました。卒業後は日本で就職して経験を積み、将来的には、母国の半導体産業の発展に寄与していきたいです。